

令和3年度学校自己評価システムシート (県立与野高等学校)

目指す学校像	「二兎を追い、獲得する」をモットーとして、学力と創造力及び他者を尊重する心を育み、一人ひとりの進路実現を目指す学校
--------	---

重点目標	1 幅広い教養と確かな学力の向上を図り、進路実現を支援する。 2 自己を律し、他者を尊重する精神と、自らが主体的・能動的に行動する意識を育成する。 3 保護者・地域との連携をとって、開かれた学校づくりを推進する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	4名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
1	<p><現状>本校生は学習意欲が高く、基本的な生活習慣も身に付いている。進路に関する調べ学習や英語外部検定試験にも積極的に取り組んでいるが、ICTを活用した取組は十分とはいえない。</p> <p><課題>学校全体でICTを活用した学習指導・進路指導の充実が必要である。</p>	<p>○授業充実と生徒の学力向上</p> <p>○生徒が希望する進路実現</p>	<p>①職員研修会の実施</p> <p>②ICT機器を活用した授業の実施</p> <p>①外部機関と連携した進路ガイダンス等の実施</p> <p>②長期休業中の進学補習の実施</p> <p>③英語外部検定試験を活用した英語力の向上</p>	<p>①職員研修会の実施回数(年2回以上)</p> <p>②生徒・保護者アンケートの「授業満足度」で肯定的回答が80%以上</p> <p>①②生徒・保護者アンケートの「進路行事への意欲的な参加」が70%以上</p> <p>③英語外部検定試験の延べ受験者数が800人以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ICT関係(5/20)、観点別評価関係(6/29、12/21)、教育相談関係(10/15)計4回実施 全HR教室にプロジェクターが設置され、ICT機器を活用した授業が増加 アンケート結果「授業満足度」は79%(前年度81%) 大学・短大・専門学校の入試担当者による分野別進路ガイダンスを実施(7/15) 地域企業経営者等による講演会(10/7) 企業経営者との四者面談に参加(1/29) 夏季休業中に25講座の補習を実施 アンケート結果「進路行事への意欲的な参加」は71%(前年度68%) 英語検定への興味・関心を高める行事「English Challenge」を実施(1/21) 英語外部検定試験はのべ701人受験 	B	<ul style="list-style-type: none"> 自分専用の端末で学んできた生徒が進学してくることを踏まえ、ICT機器の授業での活用を一層進める必要がある。 総合的な探究の時間において「進路に関する課題」の探究活動をさらに充実させ、進路行事、英語外部検定試験の積極的な取組を後押しする。
2	<p><現状>落ち着いた校風の下で、多くの生徒が生徒会活動・部活動に取り組んでいる。一方、与えられたことには取り組むが、自ら発見し行動することは不得意な傾向がある。</p> <p><課題>「二兎を追い、獲得する」をモットーとした活動を継続・発展させるため、生徒の率先力及び協働力を高める必要がある。</p>	<p>○学校行事・部活動等とおした率先力・協働力の育成</p> <p>○与野高生としてのプライドの育成</p>	<p>①生徒主体の学校行事の実施</p> <p>②部活動の積極的な取組</p> <p>①マナー指導・SNS指導等とおして、他を思いやる心を育成</p> <p>②登下校指導、遅刻指導、整容指導の実施</p>	<p>①生徒・保護者アンケートの「行事の満足度」で肯定的な回答が80%以上</p> <p>②生徒・保護者アンケートの「部活動の満足度」で肯定的な回答が80%以上</p> <p>②部活動加入率90%以上</p> <p>①②生徒・保護者アンケートの「入学してよかった」が90%以上</p> <p>②生徒・保護者アンケートの「校内外における生活マナー」で肯定的な回答が90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭等は実施を見送ったが、体育祭・球技大会・芸術鑑賞会・マラソン大会等の学校行事は予定どおり実施 アンケート結果「行事への意欲的な取組」は89%(前年度90%) 感染症対策による制限を受けながらも前向きに取り組む、フェンシング部、バトン部、科学研究部が全国大会(総合文化祭)へ出場 アンケート結果「部活動への意欲的な取組」は77%(前年度84%) 部活動加入率は89%(前年度93%) 登下校指導を毎日実施し、時差通学や定期考査期間中は増員して対応 学年を中心に継続的に遅刻指導・整容指導を実施 SNS講演会(4/13)を実施 アンケート結果「入学してよかった」は90%(前年度93%) アンケート結果「学校のルールを守って生活している」は98%(前年度99%) 今年度のいじめ認知件数は0件 	A	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果「もっと充実させて欲しい教育活動」で生徒の49%が「学校行事の充実」を回答したことを踏まえ、引き続き感染拡大状況を見極めながら学校行事の充実に向けて取り組む。 生徒の規範意識の向上に向け、引き続き学校全体で指導する。
3	<p><現状>本校の教育活動が地域に理解され、地域に根ざした学校として地域との交流を行っている。また、HPや一斉メールも数多く更新・配信している。</p> <p><課題>コロナ禍で地域との交流等が縮小されたため、感染症対策を講じた上で再開に向けた取り組みが必要である。</p>	○保護者・地域等の連携	<p>①ホームページのさらなる充実</p> <p>②メール配信システムを使用したきめ細かな連絡</p> <p>③PTAと連携した文化祭、マラソン大会等への運営協力者数の増加</p> <p>④生徒募集を効率化させ中学生および保護者へ情報を適切に提供</p> <p>⑤地域交流事業への参加</p>	<p>①ホームページの更新回数が年100回以上</p> <p>②メール配信回数が年100回以上</p> <p>③PTA活動の参加者数が年200人以上</p> <p>④学校見学会への参加者数が年2000人以上</p> <p>⑤小高連携事業等の参加者数が年100人以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ180回以上更新(平均7ヶ月1200件/日) メール250回以上配信 部活動の取組を紹介する新聞を自治会や公民館に配布 PTA大学見学会235人(7/5)、マラソン大会運営78人(11/18)、体育祭やPTA主催講演会等では各部担当者来校 学校見学会を3日実施(約3000人来校) 学校説明動画をアップ(約60007ヶ月) 1年生による中学校訪問、管理職による塾訪問(200教室)、中学生対象個別相談会を実施 陸上部による小高連携事業(小学生80人、本校生12人)、書道部による地域交流講座(小学生10人、生徒3人) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した情報発信を継続する。 PTA活動に参加しやすい環境を検討する。 多くの生徒が地域と交流できる機会を設ける。

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和4年2月10日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>○子どもたちへの学びを止めない学校運営に感謝する。</p> <p>○オンライン教材を利用することは非常によい。</p> <p>○引き続きICTを活用した学習・進路指導を充実してほしい。</p> <p>○授業を受ける環境や説明・進め方について改善が必要である。</p> <p>○生徒一人ひとりの進路目標に合わせた指導をお願いしたい。</p> <p>○英語外部試験への取組はよかった。</p>	
<p>○コロナ禍であっても行事を大切に考えながら生徒たちを育てていると感じた。</p> <p>○リーダーシップの育成に向けプレゼンテーションの授業を取れ入れると良い。</p> <p>○生徒の頑張りを適切に評価してほしい。</p> <p>○生徒指導の基準について生徒会の意見を取り入れてほしい。</p> <p>○生徒のプライド育成ができていので良い友達との出会いができる。</p>	
<p>○中学校から見ても信頼は厚い。地域の誇りとして活躍してほしい。</p> <p>○PTAの活動内容もICTを活用して情報発信することで、多くの人に知って頂くことで充実させたい。</p> <p>○地域の小学校との交流や自治会等とのつながりはとても良い。</p> <p>○今後多くの生徒が地域参加型の行事に参加できればと願っている。</p> <p>○登校時、地域の皆様に守ってもらっていることに感謝している。</p>	